

帰国研修員便り

【帰国研修員の現地活動状況】



伊藤ジョージさんからブラジルでの活動状況を報告して頂きました。

- 1) コースリーダー : 三木 義男
- 2) 現地活動報告 : 伊藤ジョージ
(ブラジル帰国研修員)

2015年9月16日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

JICA/KITA 技術研修に参加した伊藤ジョージさん（ブラジル帰国研修員）から現地活動状況の便りが届きました

今回、ご紹介する帰国研修員便りは、昨年（2014年）JICA/KITA 日系研修コース【中小企業振興】に参加された伊藤ジョージさんの帰国後の現地活動状況です。

1. 現地便りを頂いた帰国研修員の紹介

写真	氏名	国名	JICA受入れ研修期間
	伊藤ジョージ	ブラジル	2014/05/2 ~ 2014/06/27

2014年日系研修【中小企業振興】で伊藤ジョージさんが報告したアクションプランです。
◆クリックしてアクションプランをご一読下さい。



伊藤ジョージさん

三木コースリーダー

【日系研修 中小企業振興】コースの 閉講式記念写真 2014年7月26日

2. 三木コースリーダーからメッセージ

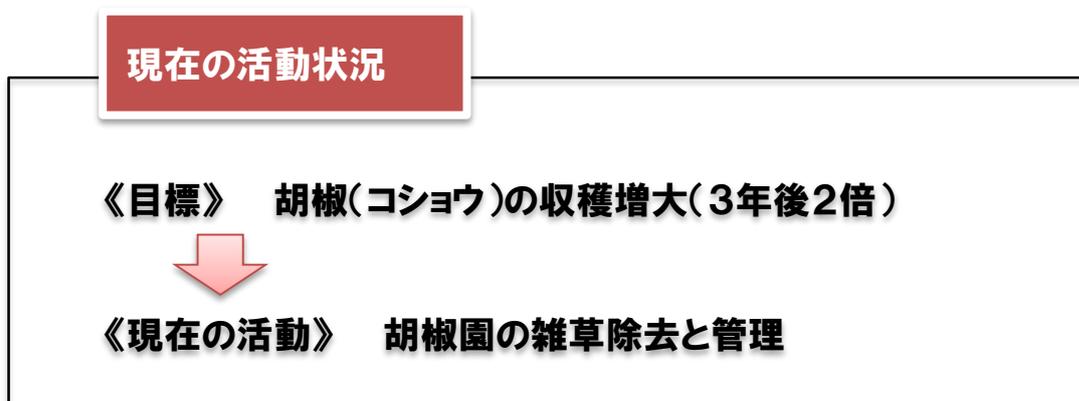


私は、当研修コースの前（2014年3月）に JICA「日系研修事業」（地域活性化）コースのフォローアップで、伊藤ジョージさんの出身母体のトメアスー文化農村振興協会を訪問して、研修参加者2名にもお会いし、帰国後のアクションプランの成果を拝聴する機会を得ました。その上、トメアスー地域の皆さんからも大歓迎を受け、且つ、日本人ブラジル移民の開拓の足跡にも触れることが出来ました。その後の当コースでの伊藤ジョージさんとの出会いですから、非常な親近感を覚え、伊藤ジョージさんと兄弟の様に接することが出来ました。また、伊藤ジョージさんも私と気さくに接して頂き、その上、チームの皆さんの纏め役として行動されて非常に楽しい研修期間を過ごすことが出来て感謝致しております。帰国後、上司で帰国研修員の乙幡アルベルト敬一さんからもお礼のメールを頂き、伊藤ジョージさんからはクリスマス、正月と便りを頂きました。今般、帰国後、約10か月の早いタイミングで、アクションプランの活動報告を頂きまして、非常に嬉しく存じます。目標としている“胡椒の売り上げを3年後に2倍にする”に向かって努力されている実態を目に致しまして、着実に実現していると心強く感じました。胡椒の収穫は、季節変動に非常に左右されると聞いています。現在、世界規模の異常気象が発生していますので予測・予知による出来得る事前策も必要かと思えます。トメアスー地域の益々の繁栄を期待しています。

3. 伊藤ジョージさんからの便り



~~~~~◆現地活動状況について~~~~~



## コショウ園の手入れ作業と収穫



コショウ園の雑草除去： 除草剤を使用していないため作業には時間がかかる



草刈り作業終了

小型機械を活用して作業の効率化を実施



生木支柱栽培

「5S活動の実践」袋に番号を付けて誰でも分かり易く改善した。  
“袋”は、収穫したコショウを入れて畑から倉庫に運ぶために使用



収穫したコショウの乾燥：  
手間暇かけて高品質のコショウづくりを実施

## 《伊藤ジョージさんのアクションプランと進捗状況》

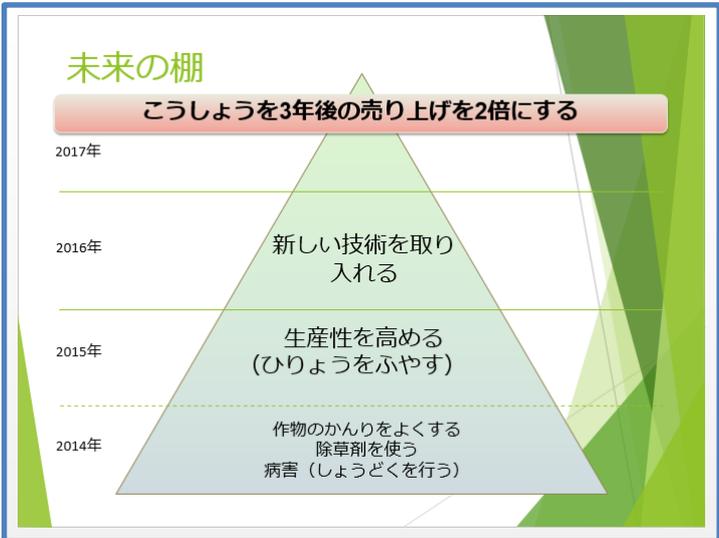
### 改善すべき課題

- ●こしょうの生産性がのびていない
- 時間のロスがおおい
  - 従業員のしごとにむだがおおい
  - もののおきばがきまていない
- 機械化ができていない

アクションプランで計画した目標に向かって  
一步一步確実に作業改善を進めています。



胡椒の収穫と売り上げを  
倍増にします！



乙幡 帰国研修員 (トメアスー組合長) からも便りがありました

乙幡アルベルト敬一さんは、平成23年度の「日系研修事業」に参加しました。また、平成24年3月の現地訪問時に、トメアスー文化農村振興協会の会長として、地域の発展に向けて地域社会の皆さんの先頭に立って一生懸命に頑張っている姿を拝見し、私自身、非常に勇気づけられました。その地域づくりをされている状況報告が、定期的に私の方に情報提供されてきています。そこで、その活動の一部を紹介させていただきます。



日本ブラジル120周年祭り



【道路整備】

トメアスーでは、“自分達の町は自分達でつくる”との開拓魂が現在も続いています。



【ソーメン流し】

日本文化活動の一環として、地域団結を図る催しとして実施されます。



以上

## 4. 受入研修期間中の写真集

JICA-KITA研修コースの写真集

(2014年7月)



閉講式でスピーチされた伊藤ジョージさん



閉講式で挨拶された三木コースリーダー



講義終了後、講師と研修員



企業訪問で現場改善を学ぶ研修員



若戸大橋を背景に記念撮影



北九州エコタウン訪問の研修員



J I C A 日系研修 中小企業振興

**アクション プラン**  
Action Plan

**こうしょうを3年後の売り上げを2倍にする**

**伊藤 ジョージ**

# 改善すべき課題

- ● 工場の生産性がのびていない
- 時間のロスがおおい
  - 従業員のしごとにむだがおおい
  - もののおきばがきまていない
- 機械化ができていない

# 目的

- トメアスー地域の活性化をはかる
- 従業員の収入をよくする

# 目標

- こしょうの収穫増大（3年後2倍）
- ざっそうのコントロールを二ヶ月ごとにする
- 事業員の指導と訓練を2か月に1回する

# 未来の棚

こうしょうを3年後の売り上げを2倍にする

2017年

2016年

新しい技術を取り  
入れる

2015年

生産性を高める  
(ひりょうをふやす)

2014年

作物のかんりをよくする  
除草剤を使う  
病害 (しょうどくを行う)

# 実施計画

| 活動      | 内容                   | 担当者                    | 期間    |
|---------|----------------------|------------------------|-------|
| じょそうざい  | 使い方の研修を従業員にさせる       | のぎよしゃ<br>だいひょう<br>だんたい | 2014年 |
| 生産性を高める | 5 Sの導入<br>職場をよい環境にする | プロに指導<br>してもらう         | 2016年 |
| 販売力     | 付加価値をつける             | 自分                     | 2017年 |
|         |                      |                        |       |

# 日本の研修で感じたこと

- ▶ 日本の歴史を聞いたこと（JICA横浜）
- ▶ 移民の歴史を聞いたこと（JICA横浜）
- ▶ 三木先生の講習、事業、お話を聞いて、元気つけられたこと（JICA北九州）
- ▶ 1 × 2 × 3の農業についての考え方
- ▶ いろいろな工場見学でみせてもらったこと
- ▶ 大学で聞いたこと（技術開発のすごさ）
- ▶ 5Sが使われていること
- ▶ 環境を意識して、働いていること

JICAさんに今回研修する機会を与えていただき、お礼を申し上げます。

どうもありがとうございました

2014年10月29日  
伊藤ジョージ

クリックして下さい。  
元の画面に戻ります。